

教育委員会より

スリー・デイキャンプ

7月22日(金)23日(土)に「スリー・デイキャンプin西ノ島」を島根公園オートキャンプ場で開催しました。

このスリー・デイキャンプは活動を通じて協調性や自律性を身につけることを目的に平成26年から実施しています。

今年には新型コロナウイルス感染症の影響で日程を短縮し、宿泊もなくなりましたが、子どもたち15名の参加があり、4つのグループに分かれ、1日目いかだ作りと野外でのご飯作り、2日目いかだ航海にチャレンジしました。



▲ロープワークについて学んでいます

1日目はいかだの設計図作りからスタートしました。各グループ竹を何本使うか、ウキはどこにつけるのか等、思い思いの設計図を作っていました。

お昼時になると昼食の準備です。最初に火おこしの仕方を学び、各グループで火をおこしました。おこした火でホットドッグとスープを作りました。



▲おいしくできたかな？

昼食で栄養補給した後はいかだ作りを再開しました。ビニールひもで竹とウキを縛り、チーム一丸となっていかだを完成させました。

2日目はいよいよいかだ航海です。島根鼻から中央公民館前まで航海します。自分たちが作っていたが、何とかならぬ不安そうでしたが、何とか全部のいかだがスタートできました。

「いち・に・いち・に」や「ワンツー・ワンツー」といった掛け声が響くなか、子どもたちは一生懸命いかだを漕いでいました。

残念ながらこの日は向かい風が強く、どの班も自力でゴールすることはできませんでした。自分たちでいかだを作り、自分たちの力で航海に挑戦したことは子どもたちにとっても良い経験になったと思います。

4、5年生の中には来年もう1回挑戦して航海を成功させたい、という感想をくれた子もあり、今から来年開催するのが楽しみなイベントとなりました。



▲みんなで力を合わせて！

「助かる自習室」の開催

7月2日(土)いかあ屋、3日(日)中央公民館で「助かる自習室」を開催しました。この取組は、中学生を対象に期末テスト期間の土日に自習室を開くもので、島前高校生や大人の島留学生にも協力してもらい、中学生が分からないところを教えま



▲中央公民館での自習室の様子

初めての試みでしたが、2日間ですべての中学生が参加しました。総勢26名の中学生が参加しました。参加した中学生からは、「家より集中して勉強できる。」「わからないところが分かった。」「高校生・大人の島留学生が優しく面白かった。」「などの感想が聞かれ、若い世代同士で楽しく交流しながらも、分からないところが分かるような学習機会となりました。

楽しい夏の思い出ができました！

西ノ島町観光協会 長谷川 良菜

地域おこし協力隊活動日記

こんにちは。地域おこし協力隊の長谷川です。

真夏に外浜海水浴場の監視員のバイトで地元から友達が西ノ島に来てくれました。

馬にびっくりしたり、道路からの星に感動したり、野菜の値段におののいたりしているのを見て新鮮な気持ちを出しました。知らない間に慣れていることがいっぱいありますね。

外浜の滑り台で遊んだり

摩天崖に行ったり

釣り竿を借りて釣りをしたり

楽しい夏の思い出がたくさんできました。友達も楽しんでくれたのでよかったです。海でふらっと遊べる距離感はやっぱりすごいですね。海でこんなことすると楽しいよ！こんな遊び方あるよ！というのがあればぜひ教えてください！

9/24 SAT 10:00- @ 島根鼻公園オートキャンプ場

令和4年度西ノ島町結婚推進事業

できる男のキャンプ講座

申込締切：9月20日(火)

対象：町内在住の独身男性

参加料：無料

問合せ・申込先：中央公民館 ☎ 6-0033

(担当：安藤)

※新型コロナウイルスの状況によっては変更・中止になることがあります。

※講座詳細については担当までお問い合わせください。

<講師紹介>

安田純平(46) 松江市出身、在住。キャンプ歴13年。

地元のキャンプ場を中心に、年間30泊(60日間)は野外で過ごしている。

実技を伴うアウトドアキャンプの指導や、各種ワークショップなども開催。

ここ数年は、野外フェスなどで趣味のスラックラインやけん玉などの外遊びの楽しさを伝えるため、活動の幅を広げている。

主催：西ノ島町立中央公民館